

春まつりフィナーレイベント

親子で体験！ ミニ運動会



昭和の街のよさこい演舞

3月30日から始まった「小江戸川越春まつり」。5月3日から5日にかけてフィナーレイベントが行われました。3日には、太鼓演奏と書道パフォーマンス、よさこい演舞、ささら獅子舞パレード

等さまざまなイベントが、観光客を楽しませていました。一番街周辺では、ささら獅子舞を見ようと、人々が足を止め、見入っている様子でした。5日に連馨寺で行われた小江戸川越民踊大会では、大勢の方が見守る中、伝統の踊りを披露していました。



一番街を行く獅子



伝統の踊りを披露する皆さん

1歳の子どもと一緒に楽しめるミニ運動会が、5月23日に今成保育園つどいの広場で開催されました。

親子でふれあいながら準備運動ができるふれあい遊びや、紙で作った箱車に乗ってドライブ遊び、トンネルくぐり等、子どもと一緒に楽しめる種目がいっぱい。1歳0か月のゆいちゃんに参加したお母さん(右上写真)は「なかなかこういう体験ができないので楽しかったです」とミニ運動会を満喫した様子でした。



ドライブ遊びを楽しむ、ゆいちゃんとお母さん



親子でトンネルくぐり



「よーいどん！」の合図で、親子のかけっこがスタート

「手話」で話そう 2

障害者福祉課 ☎224-5785

Fax 225-3033

手話は世界共通？

手話は世界共通のものと思っている方も多いのではないのでしょうか。単なる身ぶりであれば、世界中どこでも通じるかもしれません。手話は言語であるため、国ごとに使われる手話も違います。手話は、音声言語よりも歴史が新しく、同じ英語圏のアメリカ・イギリス・オーストラリアでも、それぞれ手話が異なっています。

手話は誰が作ったの？

手話は、誰かが作ったものではなく、自然発生的に生まれたものといわれています。一方で、時代に合わせて、手話言語が人工的に作られています。新元号の公表を受け、全国手話研修センターでは「令和」の手話単語を検討し、発表しました。このような新しい手話単語は、テレビやインターネット等の技術の発達により、今までも速く普及するようになっていきます。

今日から実践！ ミニ手話講座

平成



右手のひらを下に向け、左から右へ水平に動かす

令和



すぼめた右手を、緩やかに開きながら少し前へ出す